

第4回東海農政局消費の部屋市民講座の開催概要 「食品の安全性について～安全性の概念とは～」

開催日：平成21年12月16日

場 所：春日井市東部市民センター

参加者：25名（一般消費者）＋2名（春日井市役所）

はじめに、「食品安全性について～安全性の概念とは～」について東海農政局職員から30分程度情報提供を行いました。

その後、参加者が4つのグループに分かれ、用意したテーマについて意見交換（各個人の考えを付箋紙に記入、その後その内容を発言）を行っていただき、各グループ代表者からグループ内で出た意見を発表していただきました。

意見発表終了後、あらためて東海農政局より食品の安全性に関する情報提供を行い、参加者の理解を深めました。

まお、グループによる意見交換では、各グループの進行がスムーズに進むよう、グループの進行役として東海農政局消費生活課職員が参加しました。

【意見交換のテーマ】

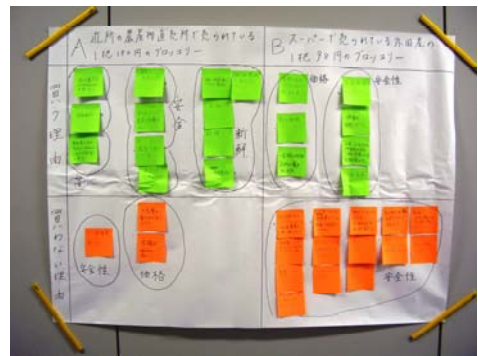
どちらを買いますか？

A：近所の農産物直売所で売られている

1把180円のブロッコリー

B：スーパーで売られている外国産の1

把98円のブロッコリー



【グループごとの意見発表の概要】

Aを選択した理由では、安全や安心との意見が多く、この他にも、農家支援や地産地消といった意見が見られ、選択しない理由については、経済性が多数を占めました。

また、Bを選択した理由では、圧倒的に経済性が多く、選択しない理由では安全性が心配との意見が圧倒的でした。

これらを踏まえ、安全性については農水省、厚労省等が連携し食品の安全性を確保しており、国内で流通している食品については国産、外国産ともに全て国内の安全性の基準を確保している旨を説明させていただき、参加者の皆様にご理解をいただきました。また、混同されがちな安全と安心の概念についても説明を行いました。

併せて、安全性は国産、外国産ともに確保されているが、ご意見にあったとおり国内農業振興という観点からも可能であれば国内産を選択していただきたい旨を説明しました。



1. 参加者の評価結果

アンケートの回収者は21名でした。

(1) 開催に対する評価

「開催を評価する」が52%（11名）、「おおむね評価する」が48%（10名）でした。「どちらでもない」、「あまり評価しない」「評価しない」の回答は無し。

(2) 今後別のテーマでセミナーを開催した場合の参加の意向

「また参加したい」が62%（13名）、「テーマによって参加したい」が38%（8名）でした。「どちらでもない」、「あまり参加したくない」「参加したくない」の回答は無し。

(3) セミナーの内容は理解できましたか

「理解できた」43%（9名）、「おおむね理解できた」が48%（10名）との評価をいただきました。この他、「どちらでもない」が1名、「あまり理解できなかった」が1名、の回答をいただきました。

2. 自己評価

自由記入欄のご意見では、「意見交換があり有意義であった」との意見を多数いただきました。このことは、参加者がスクール形式の受け身ではなく積極的に参加する形式が評価をいただけたことによるものと考えられます。

内容がADIという日常生活で馴染みのない薄いものでしたが、理解できたとの意見を多数いただいた理由として、消費生活課職員が各グループに入り、自由に意見や考えを発言いただけたことにより、理解が進んだのではないかと考えます。

また、冒頭に一般論の情報提供、意見交換後に、参加者のご意見を踏まえ、あらためてそこに重点を置き情報提供が行えたことも評価をいただいた理由と考えています。